



広報

みまた

60/3月号

発行
昭和60年3月15日
(第188号)
宮崎県北諸県郡三股町
編集 職員課
電話 52-1111



— 今月のお知らせ —

- 3月19日(火) 1歳6ヶ月児検診
(中央公民館)
- 20日(水) 糖尿病教室 (中央公民館)
- 21日(木) 健康体力づくり歩こう会
(開会式 役場)
- 26日(火) 育児教室 (中央公民館)

ねたきり老人に 愛の手を

本町においては、みんながより幸せになるために、地域福祉の充実推進に努めております。その一環として、町社会福祉協議会と特老豊望園の相互協力により、婦人民生委員の奉仕を得ながら、ねたきり老人在宅入浴サービスを実施して、大いに喜ばれています。

(写真・都城市豊望園所有の入浴サービス)

花見原土地区画整理事業 昭和60年度末完成を目指し着工



△造成中の花見原

町土地開発公社が進められていた「花見原土地区画整理事業」の整備計画が具体的にまとまり、昭和60年度末完成を目指して、この程、事業に着手しました。本町は郡城市に隣接しベッドタウン、新興住宅地として町営住宅をはじめ、一般住宅も建ちならび年々増加の傾向にあります。そこ

で、都市化が進むなかで、町勢伸展の施策として総合計画に基づき、より快適な環境づくりをめざしてこの事業が施行されるものです。花見原の事業区域は、郡城市早水町に隣接する県立都城農業高校の三股牧場跡地で、都城広域都市計画で市街化区域の第一種住居専用地域に指定され、本町の総合計画の中でも重要な地域に性格づけられているところ。この事業は、総面積八・三二〇で、区域内には区画道路の軸となる副員六号から九号の道路や用排水路、児童公園などが整備されるほか、小学校建設用地も確保されます。更に一般住宅の分譲地も宅地造成されるもので、総事業費一億三千五百万円が投じられる計画であります。この事業を施行することにより、公共施設の整備や交通の効率化、宅地の利用増進、生活環境の整備改善など広範囲におよぶ事業効果が期待される見込みです。尚、ただ今一般住宅用地を分譲しております。詳細については、町土地開発公社にお問い合わせください。
☎五二一一一一一
(内線八九・七九番)

区画整理事業計画面積

区分	面積(m ²)	備考
区画道路	14,597	
児童公園	2,500	
緑地	402	
学校用地	25,471	
分譲地	37,852	一般住宅用地
地権者用地	2,377	
計	83,199	



花見原区画整理事業区画図

県立都城農業高校牧場が完成

本町の前目地域に昭和五十八年より工事が進められていた、県立都城農業高校の牧場がこの程、立派に完成しました。新牧場は総面積九・五七〇で、施設は管理棟をはじめ、豚舎、和牛舎、鶏舎、大農具庫、加工実習室など、近代的な施設が整備され、総工費三億五千万円が投じられております。施設の完成に伴い、恵まれた教育環境の中で、充実した設備を十分に活用し、農業経営に関する知識と技術が培われるものと、大きな期待が寄せられています。



春から増える 子供の交通事故

四月になるとピカピカの一年生たちが、ランドセルを背負い、希望に小さな胸をときめかしながら学校に通い始めます。そんな一年生が事故に遭うのもこのころです。子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんが安全運転と、子供たちへの思いやりが必要。子供の姿を見たらスピードを控え目にし、徐行運転、安全運転に努めましょう。

交通災害共済に 加入しませんか

大きな社会問題となっている交通事故。万一の事故に備えて、家族ぐるみで「町村交通災害共済」に加入しませんか。加入者が事故に遭った場合、その被害の程度に応じて見舞金が支払われます。○申し込み 各戸毎にお配りしたお申し込み書に掛金を添えて、支部長を通じてお申し込みください。○掛金と期間 掛金は一人につき五百円。期間は四月一日から来年三月三十一日まで。
(中途加入もできます)
※お問い合わせ先 役場町民室まで
☎五二一一一一一(内線四一四番)

「うまい話の銭失いにならないために」

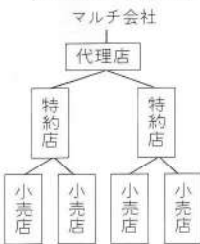
マルチ商法というのは、商品販売のための仕組みの一つです。次々と新しい販売員を勧誘して組織を広げていくところから「ねずみ講式商法」ともいわれています。この商法の特徴は、商品を売って得る利益よりも、新規の販売員を加盟させたときに支払われる「紹介料」のほうが、はるかに大きいことです。このため

マルチ商法連鎖販売取引

商品の販売は二の次で販売員集めに力を入れるようになり、あの手この手で知人や友人を誘い込むようになります。その結果、相手に経済的な損害を与えるばかりか、人間関係がうまくいなくなるなどのトラブルが発生することもしばしばです。そのほか、マルチ商法の特徴としては、次のような点が挙げられます。

- ◎加盟するとき、入会金、権利金、商品代金などの名目で金銭の支払いが義務づけられる。
- ◎会員には、例えば「小売店」「特約店」「代理店」といった幾つかのランクがあり、上位になるほど紹介料も高額になる。そのため、ランクを上げようと、手段を選ばない強引な勧誘に走るようになりがちです。

(マルチ商法の仕組みの一例)



家庭教育 人格形成は 家庭環境から

人間には、子供から大人へと成長していくそれぞれの時期に、身につけておかなければならない課題があります。それらは、身体の発育、運動機能、知識、情緒などのさまざまな側面がありますが、人間性豊かな人格を形成するためには、次のような点に配慮することが重要だといわれています。

乳児期には、親や周囲の人々に対する信頼感を持つこと。幼児期には自立心を身につけること。少年期には活動性や自発性を発揮すること。青年期には、自分の態度や行動に一貫性を保てるように自己の確立を目指すこと。

子供が、このような課題を達成するために、親がそれらにふさわしい環境を作ることが大事です。そのためには、第一に、親が子供との触れ合いを多く持ち、子供に体験、思考、選択させる機会を豊富に持たせてやることです。そして第二に、親自身がたむきず、しかも楽しく学び続けることです。そうすれば、子供も自然と親を見習って、生涯学習に取り組む姿勢を持つようになるでしょう。

第九地区公民館が完成



住民待望の第九地区公民館が二月十四日完成しました。
この施設は、鉄筋コンクリート造り平屋建、面積四百六十一・九平方尺、総工費五千七百三十八万三千円で建設。館内には大、小の会議室や調理実習室、講堂、図書室兼児童室などが整えられています。
この施設の完成によって、町内全ての地区に公民館活動の拠点としての施設が設置されたことになり、地区住民の各種の学校、講座やグループ、サークル活動など幅広い学習活動を展開し、教養の向上及び、社会福祉の増進が図られるものと期待されます。
尚、この施設は、コミュニケーションセンター機能整備事業（全国広く助成）助成金一千万円をうけて建設されています。



唐橋公営住宅

昨年八月より工事を進めてきました、唐橋第二住宅は二月二十日完成しました。
この住宅は、中層耐火構造鉄筋

昭和五十九年度も間もなく過ぎようとしております。本町においては、厳しい地方財政の中で、町総合整備計画を基本に健全財政を堅持しながら、「豊かな住みよい町づくり」をめざして、各種の事業に積極的に取り組んでまいりました。
この一年を振り返り、主な事業と町政のうごきについてみてみましょう。

昭和五十九年度 町政のうごき

コンクリート造り四階建（一戸当たり七十二平方尺）面積一千五百五十四平方尺、二種住宅十六戸が建設されました。
ほかに、団地内舗装や植栽、共同物置、合併処理施設、自転車置場、集会所なども整備され、総工費一億四千七百二十九万円が投じられております。
入居も始まり、健康で明るい家庭生活が営まれることでしょう。



植木都市下水路も完成

昨年九月から工事を進めておりました、植木地区の都市下水路事業もこの程、立派に完成しました。
当地区は、降雨毎に宅地への浸水や耕地の流失が激しいため、その滞水処理として、総工費三千二百万円を投じて、水路延長三百四十四尺をコンクリート造り下水路式で整備したものです。これにより地域住民の生活環境及び、公衆衛生の向上が図られます。



整備された天神原線

天神原・南田農道を整備

農村地域定住促進事業として、昨年十月から工事を進めておりました、農道（天神原線、南田線）がこの程、整備されました。
天神原線は、延長三百三十六尺

幅員四・五尺を舗装し、外側線と両側にU字型の排水溝を設置、総額一千九十二万円をかけて整備したものです。
南田線は、延長五百九十尺幅員四尺を舗装し、外側線と一部ガードレールを設置したもので、事業費八百五十七万円で整備したものです。
このように農道を整備することにより、農業の近代化や作業の省力化、農用地の有効利用など農業生産の向上と農業経営の安定が図られるものと期待されます。

中原・榎堀児童公園完成

子どもたちが心身ともに健やかに育ち、青少年に心の憩を与える場としての児童公園（中原・榎堀）が完成しました。
園内には、ブランコやスベリ台、砂場、鉄棒、などなどの遊具が設置され、事業費はそれぞれ六百万円で完成したものです。



完成した中原児童公園

3月	2月	1月	12月	11月	10月
<ul style="list-style-type: none"> 町公民館大会（三日） 同和問題研修会（四日） スポーツ少年団解散式（十日） 町議会定例会（十一日、二十三） 	<ul style="list-style-type: none"> 水田再編対策事業配分会議（八日） 都市下水路事業会計検査（十九日） 農業高校牧場竣工記念式典（二十三日） 唐橋団地入居説明会（二十六日） 	<ul style="list-style-type: none"> 都城北・北諸地域農作業料金設定協議会（十七日） 消防出初式（十四日） 新春懇談会（九日） 成人式（二百三十一名）（五日） 	<ul style="list-style-type: none"> 町土地開発公社理事会（三日） 新有権者意見発表会（七日） 人権週間に伴い街頭啓発（十日） 町議会定例会（十一日、二十一日） 農業振興対策協議会（十四日） 	<ul style="list-style-type: none"> 町立病院二十周年記念式典（二十六日） 町中吹奏楽部演奏会（十七日） 町和牛生産者研修会（十六日） 農地災害査定（五ヶ所）（七日） 文化祭及び功労者表彰式（三日） 	<ul style="list-style-type: none"> 榊田橋落成（渡り初め式）（二日） 公害対策審議会（十一日） 畜産振興会員付和牛説明会（十一日） シートベルト着用推進会議（二十三日）

9月	8月	7月	6月	5月	4月
<ul style="list-style-type: none"> 農地保全事業で農政局より来町（六日） 青少年非行防止懇談会（七日） 町議会定例会（十八日、二十九日） 民生委員協議会（二十九日） 	<ul style="list-style-type: none"> 中国富農研修生三名来町（三日） 町消防操法大会（五日） 新ひまわり運動推進説明会（二十日） 大流川をきれいにしようキャンペーン隊来町（三十一日） 	<ul style="list-style-type: none"> 志布志線廃止反対陳情（二日） 青少年問題協議会（十六日） 農業委員当選証書附与式（十七日） 町議会臨時会（二十七日） 	<ul style="list-style-type: none"> 町議会定例会（十四日、十九日） 国民保護協議会（七日） 公民館長会（一日） 災害危険箇所調査会（三十日） 	<ul style="list-style-type: none"> 町議会臨時会（二十四日） 知事と語りあふるの県政座談会（二十五日） 町議会臨時会（二十九日） 災害危険箇所調査会（三十日） 	<ul style="list-style-type: none"> 新採用職員に辞令交付（九名）（二日） 小園富農研修センター落成式（七日） 東高校に献血協力校として感謝状が贈られる（九日） 栄養改善推進員に委嘱状交付（十六日）

町の話題

住みよい地域づくりを

めざして公民館大会

町公民館連協では、地域の連帯を強め、明るく住みよい地域づくりをめざそう」と公民館大会を三月三日中央公民館で開催しました。大会には、各地区より約九〇名



が参加。開会行事で社会教育団体功労者の表彰が行われた後、「明るい地域づくり」をテーマに、元鹿児島県社会教育課長寺師次夫先生が、「明るい地域づくりは、社会生活の根幹をなす家庭づくりであり、家庭内での秩序の教育が大切」と講演され、参加者はメモを取りながら注意深く聞き入っていました。

公民館功労者

- 尚、受賞者は次のとおり
- ◎公民館功労者
 - 第一地区 公民館 平山 悟
 - 第二地区 〃 原口 秀則
 - 第七地区 〃 桑畑 安男
- ◎社会教育功労者
 - 第三地区 公民館 花房 正博
 - 第四地区 〃 新納 重光
- ◎社会教育団体
 - 第八地区 公民館 東原 老人クラブ

花いっぱいコンクールも表彰

新生活運動推進協議会で、昨年実施した花いっぱいコンクールの審査の結果、次のとおり優秀賞が決まり表彰されました。

最優秀賞 下新馬場老人クラブ
 優秀賞 前日老人会ゲートボールクラブ
 第四地区高給者クラブ
 プ上之馬場支部

県スポーツ賞に 六名が受賞

県スポーツ水準向上対策本部が贈る昭和五十九年度の県スポーツ賞に本町から六名が選ばれ、三月十四日中央公民館で表彰式が行われました。

- この賞は、昭和五十一年に制定され、本県のスポーツ水準向上に貢献されている優秀選手及び指導者に贈られているものとす。
- 尚、受賞者は次のとおり
- 受賞者 種目
- ◎河野政則(弓道)
- ◎谷口博次(弓道)
- ◎中村重紀子(弓道)



郷土史研究会の講演会開催

郷土史研究会(会長野崎正己、会員五十名)では、郷土の歴史を正しく理解しようとして二月三日、中央公民館で郷土史講演会を開きました。

当研究会は、時代の変遷と共に失われつつある先人の貴重な文化遺産の保護や資料の調査、研究、史跡めぐり、「ふるさとみまた」文集の発行など文化活動に積極的に取り組まれています。

今回の講演会は、県文化財保護指導員、児玉三郎氏を講師に招いて、「唐人と三股」をテーマに、江戶時代、寺社街道の神話などの講演に、参加者は熱心に聞き入っていました。



- ◎松永秀隆(ラグビー)
- ◎宝満政人(バレーボール)
- ◎新地 学(陸上)



豊かな心を育てようと音楽会

町教育研究会では、三月一日三股小で町内の小中学校合同音楽会を開きました。

これは児童、生徒が音楽を通してお互いの合唱や器楽、吹奏楽演奏を鑑賞し、美しい人間形成(豊かな心を育てる)の一助として開いたものです。

館内には、児童や生徒、父兄など約千名が参加。翼をくださいほか二十五曲を鑑賞、すばらしい演奏に深い感銘を受けたことでした。

生産技術の向上をめざして和牛品評会
 昭和六十年第二期の和牛品評会は、二月二十一日畜産センターで開催されました。

この品評会には、九〇頭が出品され、和牛の資質、体積、体形などについて厳正な審査が行われました。審査の結果は次のとおり(優等のみ)

- ◎三月せり市分存牛の部
 - 別府信子(餅原) 橋口勇夫(前目)
 - 米満正則(餅原) 木下行春(中米)
 - 松野秋雄(寺住)
- ◎四月せり市分存牛の部
 - 初森春夫(餅原) 今村 繁(餅原)
 - 福重征盛(前目) 馬渡秋義(飯屋)
 - 山元信也(勝岡)
- ◎育成牛一類
 - 別府信子(餅原) 西村 恵(餅原)
 - 加治原良夫(蓼池)



- ◎育成牛二類
 - 小牧八平(藤木) 今村 繁(餅原)
 - 岡田鶴也(小鷺) 村尾 稔(大鷺)

郷土芸能を披露

町青年連協主催(後援・文化協会)による第二回郷土芸能大会は、三月三日町体育館で盛大に開催されました。

これは町内各地域に昔から伝わる郷土芸能を見直し、それを後世に伝承しようというもので、民族芸能研究家の鳥集忠男氏と片山謙二氏を招いて芸能踊りや唄の由来などの説明も行われ、会員やOB、児童たちの熱演につめかけた大勢の人々から盛んな拍手が送られました。



- ◎唄の部
 - 米すり唄、こびき唄、狩場唄、恋唄、地絡め唄、梶山棒踊りの唄、奴踊りの唄



体力づくり推進協議会を開催

住民の健康と体力を増進するため、去る一月二十三日中央公民館で体力づくり推進協議会を開催しました。

協議会には、公民館長をはじめ、体育指導員や体育部長など約五十名が参加。「地区スポーツ活動の現状と課題」をテーマに、体育指導員の山之内吉光さん(第一地区)と上原弘義さん(第二地区)が地区活動の実態を発表。更に、参加者から活動の在り方や取り組みなどについて率直な意見が述べられていました。

青少年の非行防止を考えよう

青少年が伸びのびと、健やかに成長できる環境をつくること——これはいつの時代でも、社会全体に課せられた課題です。

今こそ、一人ひとりが非行の実態を謙虚に受けとめ、家庭や地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組まなければならないと思います。

○刑法犯少年の補導状況 (社上内小・中学校内設置女子もあらず)

学年別	54		55		56		57		58	
	11-12	11-12	小学生	中学生	高校生	少年非行	少年非行	少年非行	少年非行	少年非行
男子	1	1	1	1						
女子	269	20	15	2			1	2		
計	11	7	4	4			1	3		
自動車	5	22	4	1	4	3	10			
オートバイ	47	53	33	6	2	1				
自転車	585	509	4	285	16					
その他	12	16	13	4						
万引	639	547	1	285	21		1	5		
侵入	181	477	10	19	12		2	4		
その他	385	271	2	13	6					
計	241	268	17	334	69	5	10	32		
前	337	347	5	113	16		1			
その他	15	18	5	10	1					
合	338	358	27	374	87	5	12	43		

右欄警察署管内での昭和61年1月から12月までの補導状況です。



図書館だより

◎ 図書への寄贈について

さき程、次の方から貴重な図書の寄贈がありました。

誠にありがとうございます。
森 恵美子さん (新馬場)

◎ 新刊図書紹介

次の新刊図書を購入しました。ご利用ください。

現代用語の基礎知識、打たれ強く生きる、エルミタージュ美術館、米ぬか健康法、教科書まんが事典などほか五十五冊

国民年金保険料が六七四〇円に改定されます

国民年金の定額保険料が四月から六、七四〇円に改定されます。年金給付の財源は、加入者のかたから納めていただいている保険料の積立金と運用収入、国庫負担金で賄われています。

平均寿命の伸びと共に年金を受けられる方が増え、これに必要な費用も毎年増加しています。国民年金は物価の変動に応じて年金額が改定されます。これに伴って保険料も引き上げられることになりました。被保険者の皆さんにご理解いただき協力ください。

◎ 年金についてのお問い合わせ (五一—一一番、内線七七番)

一般寄付

毛布 一〇九枚
義援金 三〇、五二六円

先に、「アフリカへ毛布をおくる運動」が実施され、町民の皆さんより多数の寄贈がありました。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

- 昭和五十九年十二月二十六日から昭和六十年二月二十八日まで
- 寄付者 橋本 故人名 金額
 - 谷口シヅミ (夫) 正春 妻 五千元
 - 飯屋ハツ子 (夫) 秀雄 前上 十万円
 - 福重盛徳 (母) アイノ 前上 十万円
 - 北野実幸 (母) エキ 前上 二万円
 - 別納洋子 (夫) 泰男 50歳 前上 二万円
 - 飯屋高上高 (母) サエノ 前上 三万円
 - 泰美 (母) エキ 前上 三万円

今月は未納者の滞納整理月間となっております

4月は軽自動車税の納月です

三股町の人口

昭和60年3月1日現在

人口18,603人 出生22人
男 8,804人 死亡14人
女 9,799人 転入84人

世帯数 5,806戸

前月比+23人

森上之園	ハル (夫)	定義	三万円
見子	ヤス子 (妻)	熊次	三万円
山之内	吉平 (夫)	義秋	三万円
下村	ナツ子 (妻)	義秋	三万円
松山	キエ (夫)	ヤ	二万円
西村	輝男 (母)	常則	二万円
山元	アキ (夫)	常則	二万円
山中之内	ハル (妻)	フツ子	二万円
指宿	ハル (妻)	由起子	二万円
中西	秋弘 (娘)	深江豊吉	二万円
横口	ハル (娘)	由起子	二万円
出水	義廣 (母)	理佳	二万円
友房	信良 (父)	才四郎	二万円
白尾	ツル (夫)	才四郎	二万円
時任	ツル (母)	マ	二万円
中村	久見 (父)	マ	二万円
竹田	ヨシ (夫)	盛隆	二万円
山下	洋一 (夫)	貞盛	二万円
池田	昭子 (夫)	利善	二万円
上石	義之 (夫)	利善	二万円
水瀬	義之 (妻)	進子	二万円
瀬戸	義之 (妻)	進子	二万円
白浜	義之 (妻)	進子	二万円

老人福祉事業に役立てて下さいと寄贈されました。有意義にご利用させていただきます。

誠にありがとうございます。

二宮ミエさん(山王原)二二〇〇〇円